

第1回宗像市総合計画策定審議会会議録

日 時	令和6年5月 10 日(金) 10時00分~12時00分
場 所	市役所103 B 会議室
出席者	<p>【委員】 相部 麻里 市丸 直人 大淵 裕三子 北野 真市 高山 國敏 中野 和久 小林 愛理 松尾 真由美 南 博 山下 永子</p> <p>【欠席】 小川 里美 クレシーニ アン 高松 美香 藤森 一行 吉武 哲信</p> <p>【事務局】安部理事 狩野課長 松山係長 山口 原田</p>
報 告	<p>1) 今後の審議内容及びスケジュールについて</p> <p>2) 宗像市基礎データの紹介</p>
意見交換	
その他	(1) 第2回宗像市総合計画策定審議会の開催日と内容について

1 開会

2 安部理事あいさつ

3 委嘱状の交付

4 審議会委員の紹介

5 会長、副会長の選出

事務局から提案 会長に南委員、副会長に高山委員を選出

6 第三次宗像市総合計画の諮問について

安部理事から会長へ諮問書の交付

7 概要報告

(1) 今後の審議内容及びスケジュールについて

事務局説明

(質疑等)

・なし

## (2) 宗像市基礎データの紹介

事務局説明

(質疑等)

(委員) 人口について、生産年齢人口は15～64歳と表記されているが、幅が広いのではないか

(事務局) 生産年齢人口は統計的な用語で、全国と比較しやすいように同じ区分で掲載している。65歳以上の高齢人口についても、健康などは個人差が大きいことは承知している。

(委員) 社会保障経費の増加について、宗像市は子どもの数はほぼ横ばいとなっているので、少子高齢化と表現しないほうが良いのでは。例えばだが、子育て施策にお金をかけている、など、宗像市の特徴を示してもよいのでは。

(事務局) 内訳についても、宗像の特徴がわかりやすく示せるよう心掛けていく。

(委員) 宗像市の産業・経済の資料について、農業、漁業の担い手は減少、高齢化が進んでおり、全国的にも同様とのことだが、製造・加工・小売業についての年齢構成等の資料がなかったが、課題については着目しなくてよいか。

(事務局) 宗像市に特化したデータは見つからなかった。担当者の肌感ではあるが、事業の継承に課題感を持っている。

(委員) 二酸化炭素排出量について、各項目の算出はどのように行っているのか

(事務局) 次回までに調べて報告する

## 8 意見交換

(委員) 総合計画が法定ではなくなったことに伴い、位置づけが変わってきている。どのようなものにするのか、今後の策定方針を共有してもらえると議論がしやすい。

(事務局) 素案は次回提示していく。都市ブランド、協働が第2次総合計画の戦略的取り組みであったが、協働というバックボーンは変わらないと思っている。都市ブランドは市外への発信、外から人をどれだけ呼び込むか、という観点が強かったのでは。

第2次総合計画策定当時、人口が減るという予測から、結果として人口は増えた。総人口だけ見るとまちは拡大していたが、10年が経過し、人口動態の内容は変化している。今の宗像市をどう磨くか、庁内で議論をしているところである。

(委員) 守りに入るのではなく、外からの視点を取り入れてほしい。宗像市であれば自分のライフスタイルが実現できる、と思われ選ばれるとよいと思っている。宗像らしい、エッジの効いた要素が入ると、共感した人々が全国から集まる。

(事務局) 宗像の良さを発信していきたい

(委員) 生ごみコンポスト講座を開催しているが、講座に若い人が参加してくれるようになった。SDGs の意識も高まっているのではと思っている。

(委員) 日の里でコミュニティナースとして、地域の健康を守る活動をしている。どうやったら家に閉じこもっている高齢者と繋がれるか、情報が届かない、届けるためにはどうしたらよいか課題と感じている。

(委員) まちの元気度を測る上で、一つは人口の維持が絶対的な条件。その中で、宗像市は転出を上回る転入数がある。まちを選んだ理由を掘り下げて聞いてみたい。まちの良さを PR する際に、具体的な事例を SNS で発信すると、まちをイメージしやすくなると思う。人口増加のためには様々な施策が必要だが、プロモーションも大いに議論する価値がある。

また、個人的な意見だが、人口増加には住環境や自然環境、生活環境が重要。そして、地域経済も大事。地域経済が停滞すると、行政サービスや民間サービスが停滞し、過疎化した町では行政が民間に代わってサービスを提供する必要がある。産業の振興を通じて地域経済を活性化することが重要。

(事務局) 転入者が本市を選んだ理由について、市の定住に関する補助金を活用した移住者や子育て世帯を対象にアンケート調査を実施している。基本的には田舎の住環境、特に自然が近い場所を希望するが、自然に囲まれすぎている場所は避ける傾向。先日、移住して 5 年ほどの人々に集ってもらい、生の声を聞く機会があった。参加者の多くが、海が近いことや海産物が美味しいこと、田舎すぎず都会すぎないという住みやすさを評価している。最初に挙げられるのは自然環境で、その次に土地の価格や広さ。子育て世代への補助金があり、教育環境への期待も高いというアンケート結果が出ている。

(委員) 転入転出のデータの中に例えば学生が住所変更したとか、そういったものは含まれるのか

(事務局) 住民票を移動させると社会増、社会減の数には含まれる。

(会長) 次回以降、移住者が選んだ理由なども盛り込まれた提案をしてほしい

(委員) 消防は一部事務組合のため、市の計画に入りにくい。宗像市と福津市の市長は安全安心のまちづくりを掲げている。コミュニティの会議などに消防も参加したいと考えている。一般市民と直接やり取りし、顔の見える関係を築きたい。市役所には行きやすいが、消防には行きにくいという声もあり、敷居が高いというイメージを払拭したい。消防長は住宅用火災警報器の設置率向上を目指しているが、現場に出向かないと浸透しにくい。イベントでのパンフレット配布や、「#7119」の利用促進など、地道な努力が必要。自主防災組織の活動を含め、市のビジョンと共に PR できるような計画になればと思っている。

(委員) 宗像市の概要を知る機会となり、勉強になった。教育の重要性を実感しており、学校

や地域がウェルビーイングであること(幸せを感じながら生きていくこと)を目指して努力している。コミュニティ・スクールでは地域との連携を重視しており、日の里では団地再生に取り組んでいる。未来を語る会に150人の住民が参加し、熱心に議論していた。その中では小中学生も参加し、駅前の大通りの改善について議論がなされていた。住民が自分たちの暮らしに関心を持つ地域は元気があるのではと感じている。この会を通じて、教育への取り組み方も考えていきたい。

(委員)ふるさと納税に興味がある。概要を教えてほしい。

(事務局)人気があるのはイチゴ、牛肉、もつ鍋。返礼品は季節に沿ったものが売れるということもあり、イチゴが多くとれる年末にかけて需要が高まるので、1位になりやすい。寄付額は15億円前後。(確認後報告)

寄付金額に対する割合など少しずつ制度も変わっている地方創生の取り組みとして始まった。現在は個人だけでなく、企業版も拡充されている。

(委員)ふるさと納税に関して、宿泊施設利用券など足を運ぶ仕組みがあればよいと思った。来てもらって、お金を落としてもらう仕組みになるとよい。

人口についての説明があったが、今が転換期という印象を受けた。生産年齢人口減っていることに危機感を持った。

女性のための起業セミナーに参加したことがあるが、定員を上回る応募があり抽選となるほど宗像で何かやりたい女性がたくさんいることに驚いた。その中で実際に開業している人はそんなに多くないのではという印象を持っている。開業を支援する制度は充実していると思うが、起業意志のある方がもっと活躍できる場があり、開業等できれば、その人達が宗像市の良さを発信してくれるのではと考えた。自分は市外のお店に商品を届けることで宗像の魅力発信を目指して取り組んでいる。

宗像のイメージとして、「魚のイメージが強い」という声を頂く。宗像には魚の他にも魅力的な食材、教育、歴史など様々な魅力があると思うので、そういったものも市外の方に発信してけるといい。

福岡市・千葉・北九州市で子育てを経験したが、地域によって子育て環境が全く違うと感じた。

子どもをもつ起業意思のある女性にとっては託児のシステムのあるセミナールームやレンタル施設があると事業プランをお試しする場になるのではと感じた。チャレンジしてみたい人、子どもを預けてやってみたい、生き生きできる場所があれば子育てだけでなく、経済の活性化も期待できるのではと感じた。

(委員)行財政の状態としては安定的。今後のまちづくりにも活かしてほしい。

一方で市税収入の大幅増、また国県の状況を踏まえるとよそからのお金が増えるということは考えにくい。公共施設をとっても、老朽化する中でどのように考えていくのか、事業を見直すタイミングも来ると思う。基本構想の中に盛り込むものではないが、財政の厳しさも見据え

ながら考えていく必要もある。

審議会の中では基本構想についてプラスの面をふんだんに盛り込んでいければと考えている。

(委員)この10年間で考えや情報の伝達手段が変わったと感じている。

自分で判断する、災害時にどう助けるか、考えていくことが大切だと感じた。

第2次の計画から、みんな10年歳を取った。まちも人間も成熟した。

健康で安心して暮らせるまちづくりが必要だと感じた。攻めも大事だが、ベースとして守るべきものも整理をしていく必要がある。

また、宗像の強みを生かしたものにできればと思っている。できているもの、できていないものも整理しながら議論できればと思う。

(事務局)

委員のみなさんの将来に対する前向きなお話を伺い、いかに市民のみなさんが、様々なものごとにチャレンジできる環境を整えるにはどうしたらよいか、という思いになった。

行財政の課題の一つに、公共施設の老朽化問題がある。学校が半分を占める。今後、例えば、学校や地域の施設、社会福祉施設などを併せ持つような施設の複合化などの検討もすすめる可能性もある。

## 9 その他

(1) 第2回宗像市総合計画策定審議会の開催日と内容について  
事務局説明

次回開催日、場所については調整のうえ後日連絡。

閉会